



総社市副市長 田中 博

プロフィール

- 長崎県諫早市出身
(生まれは広島県尾道市) 41 歳
- 大阪大学法学部卒
- 平成9年国家公務員I種試験(法律)に合格し、翌年、郵政省に入省。総務省総合通信基盤局や岡山市企画局情報政策部長などを歴任し、平成25年7月から大臣官房総務課課長補佐
- モットーは「愚公移山」
- 好きな食べ物はスイカ、桃、マスカットなどの果物
- 休日はいろいろな所を歩き回ったり、ゆったりと本を読んだりして過ごしています

■**総社市の印象を教えてください**
平成16年4月からの2年間、隣の岡山市で勤務しており、そのとき、備中国分寺や鬼ノ城など、観光で何度か訪れたことがあります。
総社市は、備中国の国府として歴史にあふれ、悠々と流れる高梁川にいだかれた雄大な自然が素晴らしいところだと思っています。
また、交通の要衝に位置し、企業誘致も盛んで人口も増加傾向と、勢いのある市のイメージがあります。

■**副市長としての意気込みは**
わが国が人口減少社会を迎え、人口争奪戦とも言える都市間競争が繰り広げられているこの重要な時期に、このような大役を仰せつかり、誠に身の引き締まる思いです。微力ながら、3期目を迎えた片岡市長をしっかりと支えていきたいと思っています。

■**市民の皆さんへ一言**
総社市については、まだまだ知らないことばかりであり、勉強中の毎日ですが、一日も早く、総社市民の皆さまの期待に応えられるよう、努力してまいります。
そして、片岡市長の掲げる「全国屈指の福祉先駆都市」の実現に向け、全身全霊を傾けて取り組んでまいります。
総社市民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副市長

——全国屈指の福祉先駆都市の実現に向け
全身全霊を傾けたい——

議会



荒木勝美議長(写真左)、頓宮美津子副議長(写真右)

10月臨時市議会

荒木勝美議長、頓宮美津子副議長が就任
常任委員会の組織改変 4委員会から3委員会へ

問い合わせ 議会事務局(☎83332)

10月臨時市議会が、10月14日に開かれました。

この議会では、議長に荒木勝美議員(久代)、副議長に頓宮美津子議員(三須)の就任が決定。議会から選出される監査委員には、赤澤康宏議員(清音柿木)を選任する同意案が原案のとおり可決されました。荒木議長は合併直後の平成17年に続き2度目、頓宮副議長と赤澤議員は初の就任で、任期はいずれも平成29年10月1日までです。

また、各常任委員会の組織と構成が変更されました。組織は、従来の総務文教、厚生、産業水道、建設消防の4委員会から、総務生活、文教福祉、産業建設の3委員会に変わりました。

各常任委員会と議会運営委員会の構成は次のとおりです。
▼**総務生活委員会**
【委員長】山口久子 【副委員長】三

宅啓介 【委員】高谷幸男、津神謙太郎、村木理英、笠原武士、荒木勝美、西森頼夫

▼文教福祉委員会

【委員長】加藤保博 【副委員長】根馬和子 【委員】萱野哲也、深見昌宏、小西利一、頓宮美津子、剣持堅吾、大熊公平

▼産業建設委員会

【委員長】塩見禎章 【副委員長】難波正吾 【委員】岡崎亨一、小川進一、小西義巳、赤澤康宏、片岡茂夫、名木田正昭

▼議会運営委員会

【委員長】剣持堅吾 【副委員長】村木理英 【委員】高谷幸男、小西義巳、小西利一、片岡茂夫、塩見禎章、加藤保博、山口久子(敬称略)

また、副市長の人事案が同意され、総務省出身の田中博さんの就任が決まりました。任期は10月15日から4年間です。(次ページ参照)

8月定例市議会

議員定数を定める条例を可決

24人↓22人へ

8月定例市議会が、8月26日から9月18日までの24日間の会期で開かれ、平成26年度決算の認定や条例の制定、補正予算など28案件が、認定や可決などされました。

条例では、総社市議会議員の定数を定める条例の制定を可決。これにより、平成29年に行われる予定の市議会議員選挙より、定数が現在の24人から22人に削減されます。また、サンロード吉備路に併設のきびじつるの里について、タンチョウの移転も含め、早急に関係機関と協議し、あり方を見直す決議も可決されました。

認定された決算は、一般会計と特別会計、公営企業会計の全10会計。市ホームページをスマートフォン対応にするための経費に300万円、希望退職職員の退職金に1億9500万円、マイナンバー制度開始に伴う経費2127万円など、合計11億5146万円を増額する一般会計補正予算も可決されました。